

◇資産運用 ABC（エービーシー）◇

～資産運用に興味はあるが、何をすれば良いか分からないあなたへ～

『預金から投資へ』が国（政府）の大きな方向性になって数年。資産運用にチャレンジしていますか？なかなかきっかけが掴めないという方もいるかもしれませんね。何か新しいことを始める時にいつも私が参考にしていること、それは『チーズはどこへ消えた？』です。世界で2800万部、日本でも400万部を売り上げたとっても有名な本です。この本はアップルやメルセデスベンツ、IBM等々の社員教育にも取り入れられました。そこから学ぶ教訓は、人生にとっても役に立ちます。

読まれた方も多いと思いますが、概要は、2匹のネズミと2人のコビトが主役。迷路の中をウロウロして初めに見つけたチーズの山。そこで、毎日美味しいチーズを食べて過ごしていました。すると、はじめは大量にあったチーズも食べ尽くしてしまう日が来ます。ここからが人生の分かれ道です。食べつくして消えたチーズは待っていても再び現れることは無いと初めに気づいて次のチーズの山（チーズステーション）を探しに行動を起こしたのは2匹のネズミ。コビトはとっても臆病でなかなか行動を起こすことが出来ません。しかし、じっとしていても何も変わらないことは分かっていた。でも初めてのことや知ら

ない場所に行くことが怖くて行動出来ない。次のチーズ（チーズステーション）は自ら探さない限り手に入れることは出来ないと2人のうちの1人のコビトはついに行動を起こす。ただ、全く分からない初めての場所を見つけに行く時には大きな壁（恐怖）が現れる。残ったもう1人のコビトはその恐怖に負けて今の位置から動けないまま。恐怖に打ち勝ちやっと行動を起こした1人のコビトは次のチーズの山を見つけることに成功。しかし、先に行動を起こしていたネズミにその大半は食べられていました。早く行動を起こしたネズミの方がいち早く次のチーズを見つけて次々と変化して生き残っていった……。と言うような話です。行動を起こすことはもちろん、早く決断することも大切だと教えてくれます。

さて現実世界に戻って、1980年代の銀行預金金利（10年定期預金年5～6%）のような時代は待っていても再び来るか分からない。恐らく来ないだろう！当時であれば、10年程度銀行に預けて置くだけで元金が2倍になる。そんな時代が再び来るのをひたすら待つのか、それとも今の時代に合わせた投資へと自ら行動を起こすのか……。

では、何をすれば良いかと言えば、それは人によって違います。まず、言葉で説明すると『[資産形成・資産運用・資産保全](#)』の3つに分けられます。ご自

身のステージ・分かり易く言うと年齢別に分けることができます。もう少し具体的に説明しますね。まずは、社会人になってからある一定期間（人によりさまざま）は、資産形成期間。次にある一定期間が過ぎて、一定の資産が形成出来てからの期間は、資産運用期間（資産形成も同時に進めながら）。そして、リタイア（定年退職等）した後の期間は、資産保全期間。この3段階に分けることができます。

1つずつ説明していきます。

資産形成とは、ズバリ資産を作ること。1つの目安として、100万円を目標にされると良いと思います。世界一の投資家、有名過ぎて知っている人の方が多いと思いますが、ウォーレン・バフェットの著書『スノーボール』を参考にすると、ひと塊の雪を坂道から転がした時のようにドンドン・ドンドン、雪の塊が大きくなっていきますよね。小さい頃、雪だるまを作った経験がある方はイメージしやすいですね。そのために、まずは100万円という塊（スノー・ボール）を作ること。作り方は簡単です。毎月の給料から一定額を先に積み立てに回すことです。ポイントは**先に**です。その仕組みを作ることさえ出来れば、あとは金額をいくらずつしていくだけです。収入－支出＝積立額ではダメです。収入－積立額＝支出これが正解です。コツは毎月コツコツです（ダジャレ

ですいません)。何事も一気に達成しようとするとう失敗します。宝くじに一発賭けるなんてしてはダメですよ。正しいやり方は時間ともにきちんと資産が形成されていきます。なお、ボーナス時には少し多めに先にとっておかれても良いですね。お勧めします。

次に、

資産運用です。ご自身で作った資産を働かせて、資産にお金を稼いでもらう方法です。皆さんは、朝から晩まで目一杯真剣に働いていますよね。一方お金（様）はぐ～たら眠ってないですか。立場が逆ですよ。お金はあくまで私たち人間が生きていくために必要なモノであって、カッコ書きで書いたように（様）扱いはしてはダメなんです。お金にもきちんと働かせて、きちんと稼いでもらいましょう。ちなみに、お金はとても優秀で 24 時間 365 日休まずに働いてくれます。少々の食料（運用コスト）は必要ですが、コツコツ・コツコツ働きます。ただし、人間と同じで過剰な働かせ方をすれば、0（ゼロ）になってしまう可能性はありますが、適切な場所を提供すれば雪だるまがドンドン大きくなっていきます。1日で計算しても人間（8時間）の3倍（24時間）は働きます。ちなみに過剰な働かせ方とは、先程も一度出てきた宝くじに一発賭けたり、競馬、パチンコ等々です。折角コツコツ・コツコツ作ってきた資産＝まるでわが

子のような存在、を安心して働ける環境できちんと運用していきましょう。ちなみに、資産運用期間も並行して可能であれば資産形成は行いましょう。現役で定期収入がある時期でも、資産形成が出来なくなる時期はどのご家庭にも訪れます。代表的な時期は子どもの教育資金がまとまってかかる時期です。受験の低年齢化に伴い、ご家庭の教育感で実際の時期はさまざまですが、いずれ訪れます。なぜ、受験が低年齢化しているかは人口減少に大きく関わっていますが、その話題はまた別の機会に。資産運用、ここでもコツはコツコツです（2回目ですいません）。

最後に、

資産保全です。定年退職等で安定収入が無くなったあと、ご自身の寿命に今まで形成・運用してきた資産の寿命が負けないようにする必要があります。[\(人生\)](#)
[寿命 ≤ 資産寿命](#)。そのために、きちんとした知識と経験で資産保全が必要になります。国が提示した老後 2000 万円問題もありますが、ご自身の寿命以上に資産を残し次の世代・子や孫（もっともっと先の世代）へ繋いで行くことが理想ですよね。だって、天国に行った後も子や孫にとって良い父親・母親・おじいちゃん・おばあちゃんであり続けたいですもんね。と、少し話は逸れましたが、この時期に生きてくるのが、今までに実践してきた資産形成・運用の経験にな

ります。上手くいった経験はもちろん、失敗した経験も生きてきます。仕事をしていて安定収入があるうちの失敗はリカバリー可能ですが、この年代になってからの失敗は取り返しがつかないからです。ドクター X の大門未知子のように「私、失敗しないので」のように完璧な人生であれば良いのですが、人生には失敗は付きもので、それをどう糧にするかの方が大切で人生の質に大きく関わってくると思います。資産保全期間は少し慎重に、過去から学んだ失敗を繰り返さないように。

以上が、資産運用 3 つのステージの考え方です。この考え方に沿った仕組みを作っていくことになるのですが、具体的な方法についてはご相談ください。2019 年 6 月に金融庁より発表したレポートが発端で『老後資金 2000 万円不足』問題では、公的年金だけに頼った生活設計に警鐘をならしています。私自身、4 人の子どもを育てながら資産形成・資産運用のステージを過ごしています。成功事例はもちろん、失敗事例もありますので、何でも聞いてください。知っているとやっているでは大違い。実際にやってきたことだけが、ご自身の将来に反映されます。もう、お金のことで悩まなくていいように 1 つずつ実践していきましょう。

S L : 2801 - 3220 - 6972

ソニー生命保険(株) 大分支社

〒 870-0029 大分市高砂町 2-50

オアシスひろば 21 9 階

TEL 097-532-9200

ライフプランナー 山田新悟